

渡 利 に

# 猫虐待飼育者がいます

猫を救うために、協力してくださる方はいませんか  
協力者へは飼い主の住所氏名を教えます。

アニマルポリスは県警本部・福島署へ情報を共有することがあります

このビラを見て名誉毀損だと騒ぐ人物がいたら  
その人物こそが 虐待飼育者だと疑ってください

虐待飼育をやめさせるために、

- 1、飼い主へ頻繁にエサを届け、ついでに、飼い方アドバイスをする。監視効果あり。
- 2、飼い主から引き取って飼ってくれる方はいませんか。(必ず去勢避妊をする方)  
虐待飼育されている猫は10頭以上。

## 《虐待飼い主についての目撃情報》



- エサをろくに与えず、猫たちは、もぐら・ねずみを食べている。
- 飼い主は、以前はブリーダーをしていたらしい(ブリーダーの反社会性については別紙ビラ参照)
- 飼い主は、去勢不妊手術を受けさせない。繁殖・衰弱死を繰り返している。
- 飼い主は保健所へ猫を渡して減らしたようだ。
- お腹にウジがいる。
- おしりから腸が出て死んでいた。
- 猫のフンにはウジが湧いている。かなり健康状態が悪い証拠。
- 現在10匹以上いる。妊娠中の猫も

いる。去勢不妊をしていないのに10匹程度ということは、不適切飼育によって衰弱死した頭数がかかなりあるということ。

アニマルポリスの活動は、福島でもトップレベルの極貧生活続ける主婦によるもの。築90年以上のボロ屋敷に住み、テレビなし、車なし、新聞なし、エアコンは冷房のみ、換気扇なし。お金があって活動しているのではなく、活動を続けてお金がなくなった。「お金をもらって活動してるんだろ!」と暴言を吐く方に聞きたい。ボランティアやってお金をもらえるなら、失業中のあなたこそすれば良いではありませんか。活動してまともな生活ができるなら、皆がマネするだろうが、誰もマネしない。それだけ過酷な活動だということ。楽なところには人が集まり、過酷なところには人は集まらないもの。

福島市矢剣町11-3 星野節子 024-563-7650 (tel fax) →うらへ

去勢不妊手術を受けさせない飼い主さんをご通報ください。アニマルポリス啓発隊が飼い主さん宅へ啓発に伺います。それでも理解しない方へは署名簿を送付します。



【繁殖と虐待の因果関係】

虐待目的で猫を入手した男がいます。男は女性を使い「一生、大切に大切に飼います」と嘘をつかせて、産ませた飼い主のところへ もらいに行かせていたのです。虐待と繁殖は密接な関係にあります。

【多頭飼育できる人でも絶対に産ませないでください】

飼育できるなら、保健所から引き取るとか被災動物を引き取れば、多くの命が救われます。今日、経済力がある人でも、明日には一匹も飼えなくなるかも知れません。危機管理能力のない人は動物を不幸にします。不妊手術をしておけば、災難にあっても被害を最小限に食い止められます。

メスだけでは妊娠しません、オス飼い主にも責任の半分が。

近年は生後3～4ヶ月から手術できます。

定期的に動物福祉キャンペーンを行っております。

オス猫去勢4000円のみ、メス猫不妊5000円のみ（妊娠中も同料金）

犬についてもお問い合わせください

●県内の飼い主が、去勢不妊を受けさせず、愛護団体から訴えられるという残念な事件がありました。訴えられた方は周りの視線に耐えられなくなり、県外へ引っ越ししました。同じ福島県民としてこのようなことは防ぎたいものです。●翌月、のら猫にエサを与えるだけで不妊手術を受けさせない人、去勢不妊の必要性を理解した途端にエサあげをやめた人が、訴えられました。

●福島県庁動物行政担当 平野井氏の部下が若くして退職したのは、平野井氏の偽装動物福祉行政を傍で見ていて良心が痛んだからだという情報が入りました。平野井氏は行政処分方法が苦痛死なのに安楽死だと、嘘の広報を永年続けました。このことは少なからず処分数削減の弊害となりました。今後、佐藤雄平知事・福島県保健福祉部部課・課長らが監督責任を問われるなるでしょう。知事らが信用を回復するには、平野井氏を移動させるのが得策でしょう。

ボランティア アニマルポリス <http://www2.tky.3web.ne.jp/~meme/>

〒960-8066 福島市矢剣町11-3

024-563-7650 (tel fax) うらへ→ →